

ひとにやさしいまちづくり推進指針（2020～2024）に関連する事業の取組状況について

資料2

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
1 全ての人が互いに支え合うことのできる「心」を醸成する『ひとづくり』					
(1)意識啓発の促進					
1	ユニバーサルデザイン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催 県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰(知事表彰) 県民・事業者等の理解を促進するため、リーフレット等を作成 ひとにやさしいまちづくり推進協議会の運営 県が建築・改築する一定規模以上の特定公共的施設について意見聴取会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ひとにやさしいまちづくり推進協議会等での協議を踏まえて、「ひとにやさしいまちづくり推進指針(2020～2024)」を策定 推進指針策定に係るパブリックコメント及び地域説明会(県内4会場) 県が新設する特定公共的施設に係る意見聴取会(3回) 釜石警察署 6月 南青山アパート 6月 平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称) 7月 知事表彰の実施(該当なし) ひとにやさしいまちづくり推進協議会の開催(R1.11月、R2.1月) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例の写真やイラスト等を盛り込んだひとにやさしいまちづくり推進指針(2020～2024)普及冊子を作成し、関係事業者、県民等へ配付 小学生向けひとにやさしいまちづくり普及パンフレットを作成し、県内各小学校へ配付(対象:小学4年生、発行部数10,000部) ひとにやさしいまちづくりセミナー開催(2回) テーマ「メディアユニバーサルデザイン」 (盛岡会場)12月11日 参加者40名 (釜石会場)12月16日 参加者24名 県が新設する特定公共的施設に係る意見聴取会(2回) てしろりの丘 9月 平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称) 3月(予定) 知事表彰の実施(選考中) ひとにやさしいまちづくり推進協議会の開催(R3.1月書面開催) 	保健福祉部 地域福祉課
2	障がい者駐車場適正利用促進事業(ひとにやさしい駐車場利用証制度)	<ul style="list-style-type: none"> ひとにやさしい駐車場利用証制度の運営(H22～) 公共的施設の障がい者用駐車場(車いす使用者用駐車施設)の適正利用を促進するため、県と施設管理者が協定を締結し、利用対象者に対して利用証を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 利用証発行件数 1,219件 長期(5年間) 1,081件(制度開始後累計 11,901件) 短期(最長1年間) 138件(制度開始後累計1,121件) 指定駐車施設 483施設 1,034区画 	<ul style="list-style-type: none"> 利用証発行件数 839件(令和2年12月末時点) 長期(5年間) 733件(制度開始後累計 12,634件) 短期(最長1年間) 106件(制度開始後累計 1,227件) 指定駐車施設 487施設 1,027区画(令和2年12月末時点) 	保健福祉部 地域福祉課
3	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議	宮古地域の公共的施設や商店街の点検活動を行い、公共的施設の管理者や地域住民に対し、ユニバーサルデザインの普及、啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 福祉避難所の調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 田老総合事務所新庁舎建築工事に係る意見交換・現地見学を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター
4	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援	<p>「障がい者観光サポーターの会」の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組みをしている。 <p>当会に対する県の支援は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 その他、担当者が一部事業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 定例会時に実施するプチ研修参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は台風19号災害により中止 歳末たすけあい芸能大会(寸劇「てぶくろ」)に参加 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 街中散策会、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座8校(夏井小、長内小、大川目小、小久慈小、宇部小、平山小、小喜小、久慈湊小)。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)及び歳末たすけあい芸能大会(寸劇)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 新設された市立図書館のUD施設を視察 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座3校(長内小、小久慈小、小袖小)。 	県北広域振興局保健福祉環境部

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
(2) 学ぶ機会の充実					
5	特別支援学校医療的ケア体制整備事業	経管栄養等の医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置するもの	○看護師配置校 7校 ○対象児童生徒数 40名 ○任用看護師 39名 ○医療的ケアが必要な児童生徒が、看護師による医療的ケアを受けた割合98%	医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する県立特別支援学校に看護師を配置する。	教育委員会 学校教育課
6	いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業	高等学校に在籍している障がいのある生徒のもとに非常勤職員を配置し、障がい等のある生徒を受け入れる体制を整備し、学校生活への適応を図る。	県立高校に特別支援教育支援員(非常勤)38名を配置し、学校生活全般を支援した。	県立高校に特別支援教育支援員(非常勤)38名を配置し、学校生活全般を支援する。	教育委員会 学校教育課
7	いわて特別支援教育推進プラン実践事業	「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、幼稚園から高等学校までの全ての学校において特別支援教育の役割を果たせるよう充実、強化を図るもの。	○サポーター養成講座を特別支援学校3校で実施 特別支援教育サポーター登録者数 296名 ○全ての県立特別支援学校において、児童生徒の居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施 「交流籍」活用による交流及び共同学習実施学校数 15校	○サポーター養成講座を実施し、特別支援教育の理解を図るとともに、サポーター登録の働きかけを推進 特別支援教育サポーター登録者数 320名 ○全ての県立特別支援学校において、児童生徒の居住地にある小中学校と交流及び共同学習を実施 「交流籍」活用による交流及び共同学習実施学校数 15校	教育委員会 学校教育課
8	特別支援学校キャリア教育推進事業	特別支援学校(高等部)に職業指導支援員を配置し、作業学習等の生徒への支援・教職員の補助、授業の補助具等教材の作成により、職業教育の充実を図る。	一般就労の割合の向上のため、企業等と共に支援体制の整備を図り、特別支援学校に在籍する生徒の実習先・就労先の拡充を進めた。 ○職業指導支援員の配置(5校、6名) ○技能認定会、技能認定研究協議会の実施 (認定会:花巻市総合体育館、協議会6回) ○「技能認定につながる活動」「働く力や社会生活に必要な能力・態度を育成する活動」の実施 ・各支援学校において講演会や見学会を実施 ○企業との連携協議会の実施 ・県内8カ所で開催 ・「特別支援学校と企業との連携協議会」に参加した企業数84社	一般就労の割合の向上のため、企業等と共に支援体制の整備を図り、特別支援学校に在籍する生徒の実習先・就労先の拡充を進める。 ○職業指導支援員の配置 ○技能認定会、技能認定研究協議会の実施 ○「技能認定につながる活動」「働く力や社会生活に必要な能力・態度を育成する活動」の実施 ○企業との連携協議会の実施	教育委員会 学校教育課
9	ユニバーサルデザイン学習支援事業	管内の小中学校に対して、希望調査、講師のあつ旋(岩手点訳の会、カシオペア連邦はーとふる発見隊等)、派遣(ろうあ者・盲ろう者相談員等)等により、UDに関する学習の支援を行う。	管内の小中学校4校において、UD学習支援講座を実施。 ○手話体験(奥中山小、浄法寺小) ○点字体験(奥中山小、石切所小) ○二戸合庁UD探検(奥中山小) ○障がい者のお話を聞く会(江刺家小、奥中山小)	管内の小中学校に対して希望調査を行い、希望に応じてUDに関する学習支援講座を実施 ○手話体験(単独事業) ○点字体験(岩手点訳の会との協働) ○二戸合庁UD探検(カシオペア連邦はーとふる発見隊との協働) ○障がい者のお話を聞く会(同上) 【実績見込】5校 ○手話体験(石切所小、福岡小、二戸西小) ○二戸合庁UD探検(中央小、小鳥谷小) ※点字体験:希望なし、障がい者のお話を聞く会:新型コロナによる感染防止のため中止	県北広域振興局二戸保健福祉環境センター
10	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	小学校の総合学習等において、ユニバーサルデザインの学習支援を行う。	○田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○福祉避難所の調査を実施	○田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○田老総合事務所新庁舎建築工事に係る意見交換・現地見学を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
11	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	<p>「障がい者観光サポーターの会」の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組みをしている。 <p>当会に対する県の支援は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 その他、担当者が一部事業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 定例会時に実施するプチ研修参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は台風19号災害により中止 歳末たすけあい芸能大会(寸劇「てぶくろ」)に参加 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 街中散策会、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座8校(夏井小、長内小、大川目小、小久慈小、宇部小、平山小、小喜小、久慈湊小)。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)及び歳末たすけあい芸能大会(寸劇)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 新設された市立図書館のUD施設を視察 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座3校(長内小、小久慈小、小袖小)。 	県北広域振興局保健福祉環境部
(3)人材・組織の育成					
12	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催 		<ul style="list-style-type: none"> ひとにやさしいまちづくりセミナー開催(2回) テーマ「メディアユニバーサルデザイン」(盛岡会場)12月11日 参加者40名(釜石会場)12月16日 参加者24名 	保健福祉部地域福祉課
13	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	<p>宮古地域におけるユニバーサルデザインの推進について地域の障がい当事者、社会福祉協議会、建築士会や建設組合等の関係団体が協力し、地域ニーズを取り入れながら進めることを目的とし、宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議を設置。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 福祉避難所の調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 田老総合事務所新庁舎建築工事に係る意見交換・現地見学を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター
14	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	<p>「障がい者観光サポーターの会」の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組みをしている。 <p>当会に対する県の支援は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 その他、担当者が一部事業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 定例会時に実施するプチ研修参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は台風19号災害により中止 歳末たすけあい芸能大会(寸劇「てぶくろ」)に参加 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 街中散策会、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座8校(夏井小、長内小、大川目小、小久慈小、宇部小、平山小、小喜小、久慈湊小)。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)及び歳末たすけあい芸能大会(寸劇)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 新設された市立図書館のUD施設を視察 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座3校(長内小、小久慈小、小袖小)。 	県北広域振興局保健福祉環境部
15	「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」事業	<p>東日本大震災津波においては、ボランティアの受入に関し、関係機関・団体の連携が不十分であったことなど様々な問題点が指摘されたことから、平成26年3月に「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定したところ。</p> <p>その指針において掲げた基本的視点(「地域の受援力を高める取組の推進」及び「関係機関・団体のネットワークの構築」)を具体化するため、主に以下の取組を行うもの。</p> <p>①「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議の開催 構成員: 県社協、日赤県支部、ifc、遠野まごころネット、SAVE IWATE、県立大学、盛岡市、雫石町、大船渡市社協、一関市社協</p> <p>③ ①の連絡会議が主催する研修会開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会議の開催 令和元年台風第19号災害対応のため実施なし 連絡会議が主催する研修会等の実施 令和2年2月12日・13日 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会議の開催(R1.11) 連絡会議が主催する研修会等の実施 新型コロナウイルス感染症の影響により県主催分は中止 	保健福祉部地域福祉課

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
2 全ての人々が安全かつ円滑に移動でき、快適に過ごすことができる『まちづくり』					
(1)まちづくり全体					
16	ひとにやさしいまちづくり条例に基づく県が新築または新設する特定公共的施設に係る意見聴取実施要領	県が新設する特定公共的施設のうち、次に該当するものについて障がいのある方、高齢者の方、子育て中の方などから意見を聴取する機会を設けるもの。 1 床面積合計が2千平米以上の建築物 2 区域面積5千平米以上の公園・遊園地・動物園・植物園など	○ 釜石警察署 6月 ○ 南青山アパート 6月 ○ 平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称) 7月	○ てしろもりの丘 9月 ○ 平泉の文化遺産ガイダンス施設(仮称) 3月(予定)	保健福祉部 地域福祉課
(2)公共的施設・建築物					
17	ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託	1 委託内容 ひとにやさしいまちづくり条例の施行に関する事務を、市町村に委託する 2 委託事業 経由事務・協議書審査、調査、検査事務※ 協議書審査における助言・指導等により整備基準の適合率向上を促し、ユニバーサルデザイン化推進の一旦を担う	ひとにやさしいまちづくり条例関係市町村事務処理委託 経由事務133件、審査事務57件、検査事務40件、調査事務0件、計230件	年度末に市町村事務処理委託件数の集計を行う。	県土整備部 建築住宅課
18	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	宮古地域の公共的施設や商店街の点検活動を行い、公共的施設の管理者や地域住民に対し、ユニバーサルデザインの普及、啓発を図る。 また、東日本大震災からの復興に向けたまちづくりにおいて、ユニバーサルデザインを推進するために、点検結果を基に、公共施設等管理者に助言を行う。	○ 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○ 福祉避難所の調査を実施	○ 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○ ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○ 田老総合事務所新庁舎建築工事に係る意見交換・現地見学を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター
19	両磐地域まちづくり探検隊	生活者の視点にたった人にやさしいまちづくりを推進するため、両磐地域の公共施設等のユニバーサルデザイン化の整備状況等について調査・点検し、意見・提言を行う。	○ 「花泉図書館(一関市)」の調査・点検を実施	○ 両磐地域の公共施設等の調査・点検を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	県南広域振興局保健福祉環境部一関保健福祉環境センター
(3)交通機関等					
20	バス運行対策費	路線バス事業者が、主として国庫補助を受けている不採算路線を運行するために用いるバス車両を購入する場合に要する経費に対して補助するもの。	○ ジェイアールバス東北(株) 総事業費:31,969千円 県補助額: 3,000千円 ※ H29に購入したノンステップバス2台の減価償却に対する補助	○ ジェイアールバス東北(株) 総事業費:31,969千円 県補助額: 3,000千円 ※ H29に購入したノンステップバス2台の減価償却に対する補助	ふるさと振興部 交通政策室
21	公共交通バリアフリー化設備等整備費補助	鉄道事業者が鉄道駅のバリアフリー化を行う際の経費に対して、関係市町村が補助する場合の経費の一部を補助するもの。	実績なし	実績なし	ふるさと振興部 交通政策室
(4)道路					
22	都市計画道路整備事業	都市における安全かつ快適な交通を確保するとともに、都市の骨格をなす施設として、健全な市街地の形成、活力と魅力ある快適な都市形成に寄与し、併せて防災上の役割を果たす等都市の基盤となる街路を都市計画に基づき整備するもの。	県内4箇所の街路整備を推進した。 盛岡駅本宮線、下鶴飼御庭田線、荒瀬上田面線、上野西法寺線	県内4箇所の街路整備を推進。 盛岡駅本宮線、下鶴飼御庭田線、荒瀬上田面線、上野西法寺線	県土整備部 都市計画課
23	交通安全施設等整備事業	最も基本的な移動手段である歩行のための空間を安全で快適なものとするため、交通安全施設の整備を行うもの。 1 歩道の設置・拡幅・平坦化・段差解消、視覚障がい者誘導ブロックの設置 2 無電柱化	○ 歩道整備 ・歩道整備35箇所。うち完了予定3か所(紫波町日詰、奥州市恩俗、一関市保呂羽)。 ○ 無電柱化整備 ・平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を進捗。	○ 歩道整備 ・歩道整備36箇所。うち完了予定4か所(雫石町長山、北上市鬼柳、二戸市小平、一関市愛宕)。 ○ 無電柱化整備 ・平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を進捗。	県土整備部 道路環境課

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
(5)住宅					
24	住みたい岩手の家づくり促進事業	省エネ性にすぐれ県内各地域の気候や風土といった地域性に配慮した住宅建設に取り組もうとする工務店を広く県民にPRし、顧客の獲得を支援することにより、誰もが住みやすい良質な住宅(岩手型住宅)の普及を図る。 平成22年度からは、住宅着工の大幅な落ち込みを踏まえ経済の活性化を目的に県産材を利用した岩手型住宅の新築、増築に対し助成を行うこととした。	新築18戸	新築15戸	県土整備部 建築住宅課
25	公営住宅建設事業(県営住宅の建設改修)	健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を建設し、又は既存ストックを改善して、これを住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。建設、改善に際しては、ユニバーサルデザイン化を行い、共同住宅におけるユニバーサルデザイン化のモデルとして民間への普及を図る。	・天下田アパート2号棟住戸改善工事 他	・天下田アパート3・4号棟住戸改善工事 ・内匠田アパート3号棟住戸改善工事 他	県土整備部 建築住宅課
26	岩手県居住支援協議会	低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子育て世帯、外国人等の住宅の確保に特に配慮を要する者(「住宅確保要配慮者」)の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進するとともに、住宅確保要配慮者向けの賃貸住宅の供給の促進等について協議するための協議会を設置するもの。	・常設相談窓口の設置 ・被災者向け住宅再建相談会への相談員派遣 15回 ・居住支援セミナーの開催 ・関係者情報交換会の開催 5回 ・住宅確保要配慮者への個別入居支援 10件 ・セーフティネット住宅登録支援	・常設相談窓口の設置 ・被災者向け住宅再建相談会への相談員派遣 5回 ・関係者情報交換会の開催 6回 ・住宅確保要配慮者への個別入居支援 14件 ・セーフティネット住宅登録支援	県土整備部 建築住宅課
27	セーフティネット住宅登録制度	ウェブサイトにて住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅(「セーフティネット住宅」)を登録し、広く提供するもの	・セーフティネット住宅登録件数 420戸(累計)	・セーフティネット住宅登録件数 7,331戸(累計)	県土整備部 建築住宅課
28	高齢者及び障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助	要援護高齢者及び重度身体障がい者の在宅での自立した生活を支援するとともに、その介護者の負担の軽減を図るため、市町村が在宅の要援護高齢者及び重度身体障がい者の世帯の住宅改修に必要な経費に対し助成する場合に、その事業費の一部に対して補助金を交付する。	補助対象件数:141件 実施市町村数:25市町村 県補助額:20,389千円 主な改修内容:トイレ改修、浴室改修	補助対象件数:134件 実施市町村数:28市町村 県補助額:20,081千円 主な改修内容:トイレ改修、浴室改修	保健福祉部 長寿社会課
(6)観光地					
29	いわてインバウンド新時代戦略事業	効果的な情報発信を行い、知名度向上を図るとともに、外国人観光客の受入態勢の整備を行うもの。	○外国人観光客等受入促進環境整備事業補助金 交付決定実績(61件) Wi-Fi整備 23件 外国語表示の整備等 18件 トイレ洋式化 16件 等	○外国人観光客等受入促進環境整備事業補助金 交付決定実績(29件) Wi-Fi整備 5件 外国語表示の整備等 5件 トイレ洋式化 9件 客室の和洋室化 10件	商工労働観光部 観光・プロモーション室
30	観光施設機能強化事業(全県観光案内板の改修)	本県を訪れる外国人観光客の大半を占めるアジア圏からの観光客のため、現状の日本語・英語の表記に中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の表記を加えるもの。	○観光案内板改修 5基	○必要に応じた改修を実施(令和2年度は実施なし)	商工労働観光部 観光・プロモーション室
31	いわてバリアフリー観光情報案内所	(公財)岩手県観光協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、バリアフリー対応状況などについて、高齢者、障がい者等へ観光情報の提供を行うほか、受入に向けた研修会等を実施する。	○協会HP(「いわての旅」)に、賛助会員の宿泊施設におけるバリアフリー対応状況を掲載 ○観光・宿泊施設等における意識啓発のための研修会、セミナーの開催	○協会HP(「いわての旅」)に、賛助会員の宿泊施設におけるバリアフリー対応状況を掲載 ○観光・宿泊施設等における意識啓発のための研修会、セミナーの開催	商工労働観光部 観光・プロモーション室

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
32	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	<関連部分のみ> ・ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共的施設を利用できることを目的に、県内公共的施設のバリアフリー設備等の情報を公共的施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施 (県公式ツイッターを活用した周知) ○施設等の新規登録	○県の広報媒体を活用したマップの周知 (県公式ツイッターを活用した周知) ○新規事業所の登録	保健福祉部 地域福祉課
33	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	東日本大震災からの復興に向けたまちづくりにおいて、障がいの有無に関わらず、多くの方が宮古地域の観光支援に来ていただけるよう、宿泊施設や観光施設、道の駅等に対し、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を行う。	○ 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施 ○ ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○ 福祉避難所の調査を実施	○ 田野畑村版ユニバーサルデザインマップ作製に向けた調査を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○ ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ○ 田老総合事務所新庁舎建築工事に係る意見交換・現地見学を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター
34	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	「障がい者観光サポーターの会」の目的 ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組みをしている。 当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者は適宜オブザーバー参加 ・その他、担当者が一部事業に参加	○ 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ 定例会時に実施するプチ研修参加 ○ ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)は台風19号災害により中止 ○ 歳末たすけあい芸能大会(寸劇「てぶくろ」)に参加 ○ 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 ○ 街中散策会、福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座8校(夏井小、長内小、大川目小、小久慈小、宇部小、平山小、小喜小、久慈湊小)。	○ 定例会(毎月第一水曜日)にオブザーバー参加 ○ ふれあい福祉まつり(障がい者体験コーナー)及び歳末たすけあい芸能大会(寸劇)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○ 新設された市立図書館のUD施設を視察 ○ 次の事業は会が単独又は福祉関係者と協力して実施 ○ 福祉教育(障がい者・高齢者体験)出前講座3校(長内小、小久慈小、小袖小)。	県北広域振興局保健福祉環境部
35	障がい者への理解促進事業	平泉中尊寺月見坂を、障がいがある人となない人が車いすで登りながら交流することにより、障がいへの理解を深める。	○ 弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会の開催(1日)	○ 弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会の開催(1日)予定であったが、新型コロナ感染拡大防止のため、講演会に変更して実施。	県南広域振興局保健福祉環境部
(7)公園・水辺空間等					
36	広域公園整備事業	広域公園整備事業は地方生活圏等広域的なブロック内のレクリエーション需要への対応、自然的・歴史的環境や、住民の生活環境の保全機能、防災機能の確保等を目的として、都市計画法に基づき都市計画決定された公園を整備するものである。 整備に当たっては、移動等円滑化の促進に関する基本方針を踏まえ、園路及び広場、駐車場、便所等について整備、更新を推進している。	○ 管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進した。	○ 管理する都市公園施設の適切な維持修繕、更新を推進。	県土整備部 都市計画課
(8)商店街					
37	地域貢献活動計画公表制度	床面積6,000㎡超の特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書の提出を受け、これを広く公表することにより、設置者の地域貢献への取組を地域住民に周知し、設置者の積極的な取組を支援する制度 ※地域貢献活動の一つとして、「ひとにやさしいまちづくりへの協力」が位置付けられている。	○31施設から地域貢献活動計画書の提出があり、当課ホームページで公表した。	○特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書が提出された都度、当課ホームページで公表する。 ○優良事例を県ホームページへの掲載等により公表予定	商工労働観光部経営支援課

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
3 全ての人に使いやすい『ものづくり』					
(1) 製品開発・(2) 製品利用					
38	地方独立行政法人岩手県工業技術センター運営費交付金(ユニバーサルデザイン製品にかかる開発支援)	<関連部分のみ> ユニバーサルデザイン製品にかかる研究開発 ※センターにおける研究テーマとして実施(「〇〇事業」といった位置付けはなし)	○ 企業等における外国人デザイナーとのコラボレーションによる生活用品開発(鉄器、磁器、椅子)を支援した。 ○ 岩手県立大学盛岡短期大学部及び武蔵野美術大学学生に対して、ユニバーサルデザインに関する講義を実施し、併せて県内企業が開発した製品の紹介を行った。	○ 企業の製品開発(手を触れずに腕でドアの開閉を可能とするドアオープナー)、販路開拓を支援した。 ○ 岩手県立大学盛岡短期大学部学生に対して、ユニバーサルデザインに関する講義を実施し、併せて県内企業が開発した製品の紹介を行った。 ○ 修学旅行で来所した中学生に対して、県内企業が開発した製品の紹介を行った。	商工労働観光部 ものづくり自動車産業振興室
39	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	<関連部分のみ> ・県民の意識高揚に向け、ひとにやさしいまちづくり・ユニバーサルデザインの推進に寄与した個人・団体を表彰(知事表彰)	○知事表彰(該当なし)	○知事表彰(選考中)	保健福祉部 地域福祉課
4 全ての人が必要なときに必要な形で受け取ることができる『情報発信』					
(1) 情報発信方法の工夫					
40	地域福祉推進支援事業	(H25～)地域住民が抱える課題の抽出とその課題に対する住民による解決策を探る「支え合いマップ」手法を習得し、住民同士支え合う地域づくりを推進する。	○支え合いマップ・インストラクター養成講座(5日間×2回)	○支え合いマップ・インストラクター養成講座(5日間×2回)	保健福祉部 地域福祉課
41	救助事務費(災害福祉地域研修会)	市町村担当者、社協職員、福祉関係事業者等を対象に、災害時要援護者避難支援対策に係る研修会を開催し、市町村の取組を支援する。	○災害福祉地域研修会開催(市町村職員等対象)(R1.8)	○災害福祉地域研修会開催(市町村職員等対象)(R2.9)	保健福祉部 地域福祉課
42	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	<関連部分のみ> ・条例の理念周知や意識醸成を図るため、県・市町村職員や教育関係者、事業者、県民等を対象としたセミナーを開催	-	○ひとにやさしいまちづくりセミナー開催(2回) テーマ「メディアユニバーサルデザイン」 (盛岡会場)12月11日 参加者40名 (釜石会場)12月16日 参加者24名	保健福祉部 地域福祉課
43	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業	手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣することにより、視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進する。	○点訳奉仕員の養成・研修延べ236名参加。 ○音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修延べ402名参加。 ○手話通訳者養成講習会修了者6名。手話通訳者現任者研修延べ112名参加。手話通訳者登録試験合格者0名。 ○手話通訳者の派遣27回。 ○要約筆記者養成(後期)修了者15名。要約筆記者現任者研修会(スキルアップ1、2)36名(レベルアップ4)21名。 ○要約筆記者の派遣30回。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者14名。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣231件。 ○身体障がい者パソコンサポーター養成研修10回開催。パソコンサポート件数114件。 ○点字新聞(JBニュース)の提供年間51回。	○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ○身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ○点字新聞(JBニュース)の提供	保健福祉部 障がい保健福祉課
44	県内広報事業費(いわてグラフ作成)	「いわて県民計画(2019～2028)」に基づく重要施策等、地域や生活に関わる情報を県民に適時的確に分かりやすく発信するとともに、オール岩手で震災からの復興を進めるよう復興の進捗に応じた広報を展開する。	○年5回(6月、8月、10月、12月、3月)発行。	○年4回(6月、9月、12月、3月)発行予定。	政策企画部 広聴広報課

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
(2)情報発信内容の充実					
45	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	<関連部分のみ> ・ユニバーサルデザインマップ事業 すべての人が安全かつ円滑に移動し、公共的施設を利用できることを目的に、県内公共的施設のバリアフリー設備等の情報を公共的施設管理者や県民等から提供してもらい、県で編集の上、県ホームページで地図情報として公開	○県の広報媒体を活用したマップの周知を実施(県公式ツイッターを活用した周知) ○施設等の新規登録	○県の広報媒体を活用したマップの周知(県公式ツイッターを活用した周知) ○新規事業所の登録	保健福祉部 地域福祉課
(3)情報化対応					
46	県内広報事業費(ホームページ改修)	高齢者や障がいのある人を含めて、誰もがホームページで提供される情報や機能を支障なく使用できることが重要であることから、新たなCMSを構築し、ウェブアクセシビリティの維持・向上を図る。 また、ウェブアクセシビリティに関する職員研修を行い、職員の意識啓発を図る。	○JISに対応したホームページ品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援(不備を発見の都度、指摘、修正依頼等)。 ○JIS試験を令和元年7月29日から同年9月13日まで実施し、適合レベル「A一部準拠」と診断、公表済み。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修を7月に実施。	○JISに対応したホームページ品質を維持するため、各所属で作成したページの確認。 ○各所属においてページを作成する職員に対する作成支援(不備を発見の都度、指摘、修正依頼等)。 ○ウェブアクセシビリティに配慮したホームページを作成するための職員研修を、2月から3月にかけてオンデマンド方式にて実施予定。	政策企画部 広聴広報課
5 全ての人が多様な分野で主体的に活躍できる『参画』					
(1)雇用・労働環境整備の促進、子育てと就業の両立支援					
47	いわて女性活躍支援強化事業	いわて女性の活躍企業等認定制度やイクボスの普及、経営者等への研修、女性のキャリア形成や業種を越えた女性のネットワークづくりなどによる女性が活躍できる職場環境づくりに向けた取組を強化する。	○経営者向け研修 《理解促進目的》 4回 38人 《ステップアップ目的》1回 23人 ○出前講座 15社 500人 ○岩手で輝く女性大交流会 1回 132人 ○女性のキャリアアップセミナー 2回 52人 ○女性の発想や視点を生かした起業事例等の情報発信 冊子作成 1月 4,000部 WEBに掲載 ○女性活躍推進法に基づく相談窓口の設置 相談件数 123件	○経営者向け研修 《理解促進目的》 1回 55人 《ステップアップ目的》1回 40人 ○出前講座【実施中】 ○女性活躍応援セミナー【2月開催予定】 ○女性のキャリアアップセミナー 《若手社員向け》【1月開催予定】 《中堅社員向け》【2月開催予定】 ○女性活躍推進法に基づく相談窓口の設置	環境生活部 若者女性協働推進室
48	子育て支援対策臨時特例事業費	保育所等の整備などの実施により、子どもを安心して育てることができるような体制整備を図る。	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 31,876人	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 32,531人	保健福祉部 子ども子育て支援室
49	児童福祉施設等整備費補助(認定こども園等環境整備費補助)	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備に要する費用の一部を補助することにより、質の高い環境で、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 31,876人	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 32,531人	保健福祉部 子ども子育て支援室
50	児童福祉施設等整備費補助(認定こども園施設整備費補助)	幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる体制を整備する。	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 31,876人	○保育を必要とする子どもに係る利用定員(4月1日時点)(人) 32,531人	保健福祉部 子ども子育て支援室
51	児童福祉施設等整備費補助(児童館等施設整備費補助)	市町村が行う児童館及び放課後児童クラブ室の整備に要する経費に対して補助する。	○放課後児童クラブ設置数(5月1日時点)(箇所)400箇所	○放課後児童クラブ設置数(5月1日時点)(箇所)419箇所	保健福祉部 子ども子育て支援室
52	地域子育て活動推進事業費(地域子育て活動推進事業費補助)	市町村が行う放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員の認定資格研修等を実施し、放課後における子どもの健全な育成を図る。	○放課後児童クラブ設置数(5月1日時点)(箇所)400箇所	○放課後児童クラブ設置数(5月1日時点)(箇所)419箇所	保健福祉部 子ども子育て支援室

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
53	保育対策総合支援事業費	地域の実情に応じた多様な保育需要に対応するため、保育士の確保等に必要な措置を総合的に講ずることで、子どもを安心して育てることができるような体制整備を図る。	○保育士・保育所支援センターマッチング件数(件)[累計]120件	○保育士・保育所支援センターマッチング件数(件)[累計]136件	保健福祉部 子ども子育て支援室
54	子育て応援推進事業費(仕事と子育ての調和推進事業)	・仕事と子育ての両立支援を促進するため、いわて子育てにやさしい企業等認証により企業の自主的な取組の促進を図る。	○企業認証拡大に向けた企業等訪問 91回 ○認証企業数(単年度) 35社	○企業認証拡大に向けた企業等訪問 60回 ○認証企業数(単年度) 50社	保健福祉部 子ども子育て支援室
(2)誰もがあらゆる分野で活躍できる環境づくり					
55	子育て応援推進事業費(iファミリーサービス事業)	事業に協賛する店舗、企業の協力により、買い物や遊びに出かける妊婦や子どもの連れの家庭に割引や特典などのサービスを提供するもの。	○協賛店登録の募集活動 ○登録証及びステッカー等の交付 (R2.3.31現在 協賛店登録数1,969店舗)	○協賛店登録の募集活動 ○登録証及びステッカー等の交付 (R3.3.31現在 協賛店登録数2,149店舗)	保健福祉部 子ども子育て支援室
56	認知症対策等総合支援事業	認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症に対する正しい知識と理解に向けた啓発を図るとともに、認知症疾患医療センターを中心とした安心の認知症医療体制の構築等を推進する。 1 認知症介護実践者等養成事業 2 認知症地域医療支援事業 3 認知症疾患医療センター運営事業 4 認知症施策推進会議 5 若年性認知症支援コーディネーター配置事業	1 認知症介護実践者等養成事業 ・(公財)いきいき岩手支援財団に委託し実施 ・基礎研修:204人(累計1,004人)、実践者研修:363人(累計4,569人)、リーダー研修:69人(累計709人)、指導者養成研修:1人(累計42人) 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医:15名(累計173人) ・かかりつけ医:80名(累計1,545人)、医療従事者:65名(累計810人)、歯科医師:118名(累計409人)、薬剤師:58名(累計637人)、看護職員:42名(累計198人) ※各郡市医師会、岩手県看護協会、岩手県歯科医師会、岩手県薬剤師会に委託 3 認知症疾患医療センター運営事業 ・5箇所の医療機関(岩手医科大学、宮古山口病院、国立花巻病院、北リアス病院、おとめがわ病院)に委託し実施 ・専門医療相談:9,533件、鑑別診断:420件、入院:190件 4 認知症施策推進会議(R2.1.27開催) 5 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 ・岩手医科大学に委託 6 孫世代のための認知症講座 ・開催校数:小学校86校、中学校14校 ・受講者数:小学生3,459人、中学生1,182人 7 認知症サポーター養成講座 ・養成数:13,582人(累計174,560人) ※県・市町村実施の合計 8 いわて認知症の人と家族の電話相談 ・(公財)いきいき岩手支援財団に委託し実施 ・相談件数:68件	1 認知症介護実践者等養成事業 (認知症介護実践者研修等の開催) 2 認知症地域医療支援事業 (認知症サポート医養成研修、かかりつけ医等認知症対応力向上研修、医療従事者向け認知症対応力向上研修、歯科医師認知症対応力向上研修、薬剤師認知症対応力向上研修、看護職員認知症対応力向上研修) 3 認知症疾患医療センター運営事業 4 認知症施策推進会議 5 若年性認知症支援コーディネーター設置事業 6 孫世代のための認知症講座開催 7 認知症サポーター養成講座開催 8 いわて認知症の人と家族の電話相談	保健福祉部 長寿社会課
57	高齢者社会貢献活動支援事業費	高齢者の生きがいづくりと社会貢献活動の促進を図ることを目的として、「岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター」を設置し、高齢者団体等への活動支援を行う。	・高齢者団体・個人への支援(相談窓口の設置等) 相談件数:481件 会議室利用者数:6,772人 ・情報交換・活動報告の場の提供 ホームページ更新回数:31回(アクセス数:58,819件) 情報誌発行:2回(各1400部発行) ・各種助成金に係る情報提供及び申請支援 助成金説明会の開催:県内6ヵ所(参加者:61名) ・学習会(セミナー等)の開催 開催回数:2回 参加者数:65名 ・運営協議会の設置 開催回数:1回	・高齢者団体・個人への支援(相談窓口の設置等) ・情報交換・活動報告の場の提供 ・各種助成金に係る情報提供及び申請支援 ・学習会(セミナー等)の開催 ・運営協議会の設置	保健福祉部 長寿社会課

番号	関連事業名	事業概要	令和元年度実績	令和2年度取組状況(実績見込)	担当室課等
58	都道府県地域生活支援事業(岩手県身体障害者補助犬給付事業)	重度の視覚障害者、肢体不自由者、聴覚障害者に対して、身体障害者補助犬法第2条に定める身体障害者補助犬を給付し、もって身体障害者の行動範囲を拡大するとともに社会参加と自立更生を促進し、身体障害者の福祉の増進を図る。	育成数1頭	育成数1頭	保健福祉部 障がい保健福祉課
59	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業(再掲)	手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣することにより、視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○点訳奉仕員の養成・研修延べ236名参加。 ○音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修延べ402名参加。 ○手話通訳者養成講習会修了者6名。手話通訳者現任者研修延べ112名参加。手話通訳者登録試験合格者0名。 ○手話通訳者の派遣27回。 ○要約筆記者養成(後期)修了者15名。要約筆記者現任者研修会(スキルアップ1、2)36名(レベルアップ4)21名。 ○要約筆記者の派遣30回。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者14名。 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣231件。 ○身体障がい者パソコンサポーター養成研修10回開催。パソコンサポート件数114件。 ○点字新聞(JBニュース)の提供年間51回。 	<ul style="list-style-type: none"> ○点訳奉仕員の養成・研修 ○音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ○手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ○盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ○身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ○点字新聞(JBニュース)の提供 	保健福祉部 障がい保健福祉課
60	いわて男女共同参画プラン推進事業	、「岩手県男女共同参画センター」の運営等を通して、男女が共に尊重しあい、共に参画するとともに、多様な生き方が認められる男女共同参画社会に向けた環境づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 1 表彰事業 いわて男女共同参画功労者表彰2個人、チャレンジ表彰1団体 2 男女共同参画センター事業 センターだよりの発行(年2回)、出前講座の実施(延べ受講者3,253人)、男女共同参画サポーターの養成(36名)、男女共同参画フェスティバルの実施(延べ参加者1406人)、相談実績1177件 3 性的マイノリティ(LGBT等)理解促進事業 リーフレット作成(10,000部) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 表彰事業 いわて男女共同参画功労者表彰2個人、チャレンジ表彰1個人、1団体 2 男女共同参画センター事業 センターだよりの発行(年2回)、出前講座の実施、男女共同参画サポーターの養成(91名)、男女共同参画フェスティバルの実施(WEB開催、閲覧者延べ3,817人)、相談実績1000件 3 性的マイノリティ(LGBT等)理解促進事業 職員向けガイドラインの作成、職員向け研修会の実施(2回) 	環境生活部 若者女性協働推進室